

会議名：グループホーム すてっぷ 地域連携推進会議

日時：2026年3月25日（水）10時30分～12時10分

場所：グループホームすてっぷ リビング

出席者：利用者さん M 様

地域民生委員 I 様

NPO 法人かけはし 後見人 Y 様

社会福祉法人かむ 理事長 K 様

すてっぷ所長 M

すてっぷサービス管理責任者 H

すてっぷ世話人 K

欠席者：利用者御家族 T 様お父様

1 開会の挨拶

出席者の方へ、本日お集まりいただいたことへのお礼を伝えた。

また、地域連携推進会議の目的について参加者の確認を行った。

2 出席者の紹介

出席者一人ひとり、事業所との関わりを含めて挨拶をしていただいた。

3 議題

①グループホームすてっぷ内の見学

食堂より出発して施設内の見学をしていただきました。

利用者さんが出入りされる玄関や浴室、洗濯場所を見学していただき、利用中のお部屋はプライバシーの問題でお見せ出来ませんでしたが、現在空き室があり、体験利用で使用しているお部屋を見学していただきました。

②グループホームすてっぷについて

グループホームすてっぷの説明。

すてっぷの特色として車椅子の方が多く、入浴や就寝介助の為ヘルパーさんが来られること個人の時間を大切にされる方が多いため落ち着いた雰囲気施設であること、それでも談話を好まれる方もいらっしゃるのので夕食後は食堂で職員や他利用者様とお話しして過ごされることを説明しました。また年間行事や利用者様の誕生日で特別メニューを用意してケーキでお祝いする写真などを見ていただきました。

③ヒヤリハット

すてっぷでのヒヤリハットの発生状況を説明しました。場所として各お部屋、食堂が多いこと。内容は服薬関連とベッドからのずり落ちを含めた転倒などの身体的なことが多いことを説明させていただきました。飲み零しや利用者さんが転倒、転落しやすい時間

に対して見守りを強化するのが課題になります。

④経営状況、職員体制や課題

別紙資料を元に、経営状況について説明しました。

職員体制は、すてっぷ自体は安定しています。グループホームはの勤務は大変といわれており、他施設は人手が足りない状況ではあるが、すてっぷ、じゃんぷ、ハーブの里の三施設が協力して、常勤が年に一回一週間必ず休みを取ってもらうようにしている。完全同姓介助となっているが、夜勤者は一人配置の為、三施設（すてっぷ、じゃんぷ、ハーブの里）の夜勤者が緊急時に協力する体制をとり、毎日夜に顔合わせを行っている。年年末年始や夏休みは通所先が休みの為日中の対応も必要になる。日中は、3施設の職員で協力して利用者対応を行っている。

4 質疑応答

◇民生委員様より

一階（すてっぷ）だけ部屋にトイレがあるのはなぜか？

⇒施設設計時1階は身体障害者の方の入居を想定していたのでお部屋に広いトイレがある設計をしました。

年齢が上の方（高齢の方）の入居はあるのですか？

⇒65歳以上の方は、介護保険が優先になってくるので、新規での入居はあまりないと思います。また、医療行為が必要になった場合、その方に合う別の施設へ移ることになります。

医療面では、こういった支援をしていますか？

⇒月に1~2回、訪問看護師が来所して、利用者さんのバイタルチェックや、健康相談を受けてもらっています。

また、必要な通院同行は、職員が行っています。

今回、グループホームがこういった施設なのか説明いただいたことを、この地区の民生委員3名と共有したいと思います

◇後見人様より

災害時の避難ルートはどうなっているのか？

⇒基本的に二つある玄関の近い方から避難になります。状況によりベランダから避難可能な3部屋は窓から外に避難になります。

消灯時間は何時になりますか？

⇒基本的には利用者さんのお部屋の消灯時間は決めていません。食堂や共有スペースの消灯は21時になります。

ヘルパーさんの使用の有無はどう判断されていますか？

⇒利用者様の判断と介助量がどれだけになるのかになります。職員の数が少ないため、

一人のご利用者様に長時間を費やすことができません。また、職員以外の介助者・支援者が地域に多くいるというのもヘルパー利用の利点かと思えます。近場で済ますことのできない買い物や個人的な外出、対応に技術が必要な場合はヘルパーさんとの契約をお勧めさせていただきます。

5.閉会のあいさつ

以上